

【山形テルサ指定事業】

# Rasumofsky Quartett, Wien

## ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団 山形公演

ウィーンの名門弦楽四重奏団と、山形の新進ピアニストたちが夢の共演！



早坂 有里亜



米澤 美紀



森谷 莉紅



### Program

フォーレ：ピアノ五重奏曲 第1番 ニ短調 作品89 (P. 早坂 有里亜)  
Gabriel Fauré: Klavierquintett Nr.1 d-moll Op.89

ドホナーニ：ピアノ五重奏曲 第1番 ハ短調 作品1 (P. 米澤 美紀)  
Ernst von Dohnányi: Klavierquintett Nr.1 c-moll Op.1

ブラームス：ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34 (P. 森谷 莉紅)  
Johannes Brahms: Klavierquintett f-moll Op.34

2018年3月8日《木》19:00開演 (18:30開場)

山形テルサ テルサホール

全自由席 ¥4,000 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

テルサメンバーズクラブ会員 3,600円

テルサメンバーズクラブ会員募集中！テルサメンバーズクラブ  
会員には、チケットの先行予約、割引販売があります。

前売：山形テルサ、富岡本店、山形プレイガイド、Web「チケットの王様」<http://www.soleilmusic.com>

主催■ソレイユ音楽事務所 共催・お問合せ■株富岡本店 023-641-0644 後援■オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム

# Rasumofsky Quartett, Wien

ピアニスト

Pianists

## 早坂 有里亜 Yuria Hayasaka

仙台市出身。常盤木学園高等学校音楽科を卒業。東京音楽大学器楽専攻(ピアノ)を経て、同大学院院(修士課程)鍵盤楽器研究領域(ピアノ)1年在学中。

2003年～2009年ビティナピアノコンペティションB、D、E級全国決勝大会入選。第21回「夢コン」グランコンチェルト部門優秀演奏賞(1位)。第4回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 大学・一般A部門銅賞。第15回東北ショパン学生ピアノコンクール大学生部門銅賞。第1回ダヌビア・タレント国際音楽コンクールピアノ部門(ハンガリー)ディプロマ。

2016年度東京音大成績優秀者による春の演奏会、及び卒業演奏会に出演。これまでに ワルシャワ、ニュース、ブダペストにて演奏会に出演。

ピアノを上山真理子、平岡百合子、一柳麻衣、一柳和男の各氏に、現在、鷺見加寿子、後藤美由紀、吉田友昭の各氏に、室内楽を山岡智氏に師事する。

## 米澤 美紀 Miki Yonezawa

仙台市出身。山形大学教育学部生涯教育課程音楽文化コース卒業。同大学院教育学研究科修了。オーストリアで開催されたインターナショナルサマーアカデミーにピアノ室内楽、ウィーン夏期国際音楽セミナーにピアノソロで参加。修了演奏会に出演。これまでに伊達華子氏他各氏に師事。また、クシシュトフ・ヤボンスキー、セルゲイ・ドレンスキー、ベルンハルト・バルツの各氏の指導を受ける。第14回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。クラクフ管弦楽団とE.リスト「ピアノ協奏曲第1番」にて共演。アドリアン・コックス氏と2台ピアノで共演。山形交響楽団首席チェリスト小川和久氏室内楽シリーズに出演。現在、羽陽学園短期大学非常勤講師。後進の指導にあたる一方で、山形県教職員互助会主催スクールコンサートや様々なコンサートの企画・出演、オペラの伴奏ピアニストを務める他イベント・パーティーシーンでの演奏など活動を展開。日本ショパン協会会員。

## 森谷 莉紅 Riko Moriya

東根市出身。山形県立山形北高等学校音楽科、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。第26回ビティナピアノコンペティションB級全国大会入選。同コンクールピアノデュオ 初級B全国大会入選。第59回全日本学生音楽コンクール ピアノ部門 東京大会入選。第16回東北青少年ピアノコンクールBコース銀賞。入賞者記念演奏会に出演。第20回全日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 全国大会入選。第57回全東北ピアノコンクール第3位。2013年度東京音楽大学学内オーディション合格者によるソロ・室内楽 定期演奏会にピアノソロ部門で出演。2014年度「東京音楽大学ピアノ演奏家コース 成績優秀者による～」に出演。東京音楽大学 表参道サロンコンサート vol.26に出演。大学在学中に、ローナン・オホラ、ニキータ・フィテンコ、マリア・シュライバー各氏の特別レッスンを受講。第22回山形県出身者新人演奏会に出演。現在、ソロ活動のほか伴奏ピアニストとして活動。これまでに喜嶋宏夫、喜嶋麻衣、一柳和男、須田真美子、故海老原直美、川島基、後上隆司の各氏に師事。

## ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団

Rasumofsky Quartett, Wien

音楽的コンセンサスは練りに練られ、純正律の音程から艶やかな音、透き通る和声、深みのあるユニゾンが生まれる。気がつけば4人も譜面台から離れていた。

高塚 昌彦(音楽現代 2016年2月号より)



**フランツ・ズィーゲルト Franz Siegert, 1st Violin**  
ドレスデンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にてクリスチャン・アルテンブルガーに師事し、2009年同大学院修士課程を最優秀で修了。2008年よりG.マラー青少年オーケストラのコンサートマスターを務め、またバイエルン国立歌劇場及びバイエルン国立オーケストラ、ロンドンフィルのゲストコンサートマスターを務める他、ウィーン国立歌劇場、ウィーンフィルでも演奏する。2009年よりウィーン放送交響楽団コンサートマスターを務める。



**スティーヴン・モーラー Steven Mohler, 2nd Violin**  
アリゾナ大学、カルフォルニア大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学にてクラウス・メッツル、ギンター・ビヒラー両教授に師事。ピクトリア交響楽団(カナダ)、ピアチェンツァ交響楽団(イタリア)のコンサートマスター、またハイデルベルグ市交響楽団、ウィーン室内管弦楽団を経て、現在ウィーン放送交響楽団の第2ヴァイオリン首席を務める。また、ウィーン九重奏団の一員として室内楽でも活躍。



**トーマス・ブンバル Tomas Bumbal, Viola**  
ブラチスラヴァに生まれる。5歳よりヴァイオリンを始め、ブラチスラヴァ音楽院を経て、2003年ウィーン国立音楽大学を最優秀で卒業。ヴァイオリンをフランツ・サモイ、ヴィオラをハンス＝ペーター・オクセンホファーに師事。2003年よりウィーン放送交響楽団の首席ヴィオラ奏者を務める。また平行して室内楽の活動も精力的に行っている。



**ティル・シュスラー Till Schübler, Violoncello**  
ケルン国立音楽大学にてクルト・ヘルツブルッフ、ウィーン国立音楽大学にてパレンティン・エルベン両教授に師事。その間、室内楽をアマデウス・カルテット、アルバン・ベルグ・カルテットに師事。ウィーン室内管弦楽団首席を経て、現在ウィーン放送交響楽団の首席チェロ奏者を務める傍ら、マスタークラスなどで後進の指導にも当たっている。



YAMAHA

研 究 を と も に 進 む

受け継いだ、美と力。

グランドピアノを次のステージへ

CX SERIES

TOMIOKA 富岡本店

TEL: 023-641-0644 http://www.tomioka.co.jp  
FAX: 023-641-0646 山形市七日町2-1-8